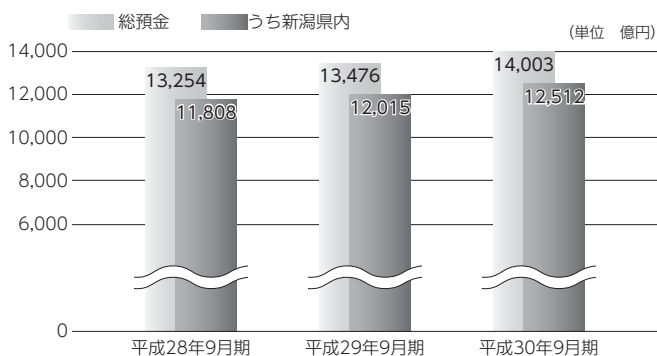


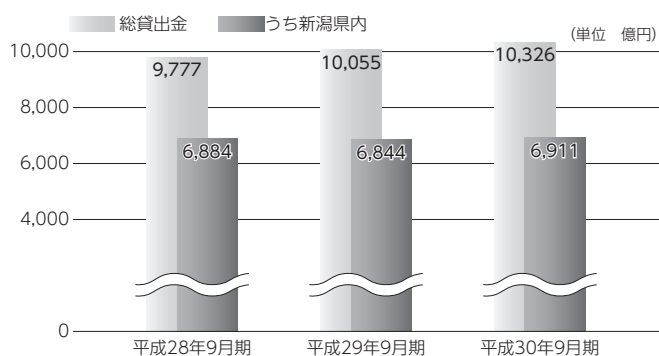
平成30年度中間決算ダイジェスト（単体）

■ 預金残高



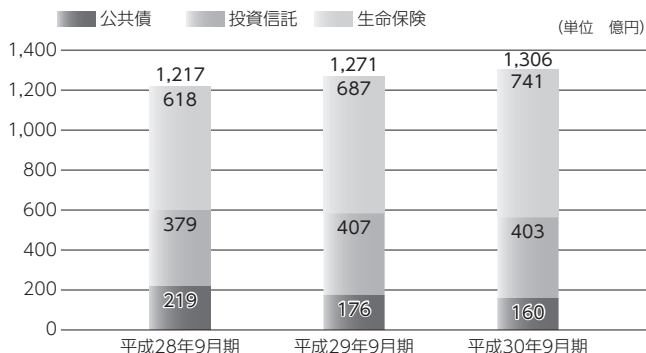
預金等残高（含む譲渡性預金）は、個人・法人預金ともに増加し、前年同期比527億円増加の1兆4,003億円となりました。新潟県内預金等残高は1兆2,512億円、県内預金比率89%です。

■ 貸出金残高



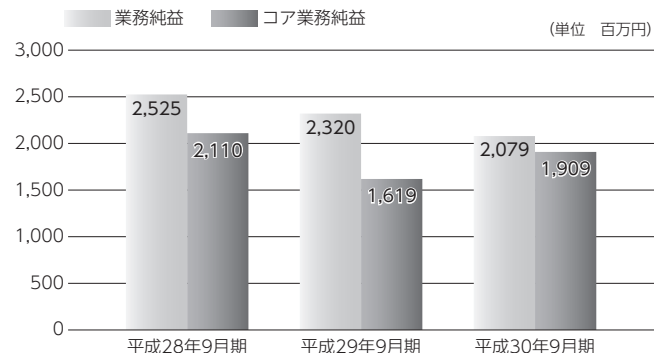
貸出金残高は、中小企業向け貸出を中心に事業者向け貸出が増加したほか、住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加し、前年同期比271億円増加の1兆326億円となりました。新潟県内貸出金残高は6,911億円、県内貸出金比率は66%です。

■ 預り資産残高



預り資産残高は、個人向け国債の償還などにより公共債が減少したほか、投資信託が減少したものの、生命保険が増加したことにより、前年同期比35億円増加の1,306億円となりました。

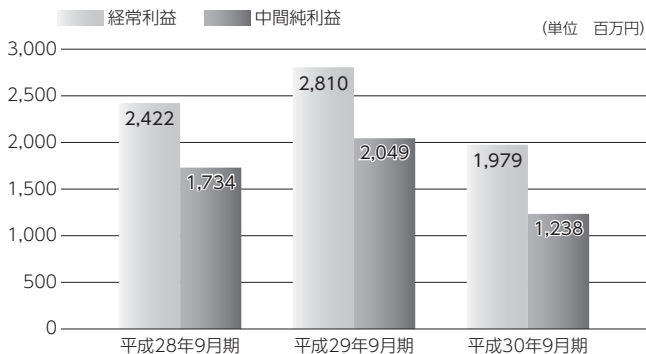
■ 業務純益・コア業務純益



業務純益は、前年同期比2億41百万円減少の20億79百万円となりました。

コア業務純益は、資金利益の増加や経費の減少などにより前年同期比2億90百万円増加の19億9百万円となりました。

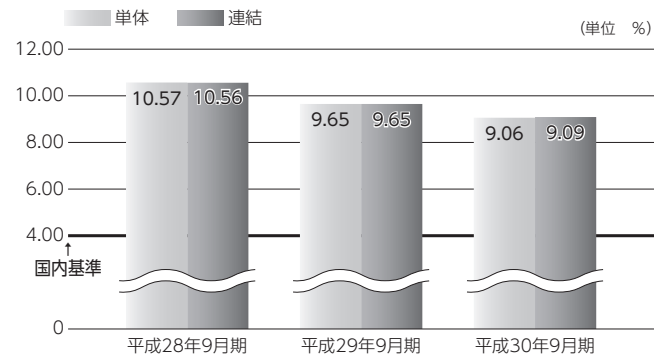
■ 経常利益・中間純利益



経常利益は、実質与信関係費用の増加や有価証券関係損益の減少などにより、前年同期比8億31百万円減少の19億79百万円となりました。

中間純利益は、前年同期比8億11百万円減少の12億38百万円となりました。

■ 自己資本比率



自己資本比率は、単体が9.06%、連結が9.09%といずれも規制値の4%を大きく上回る水準であり、引き続き高い健全性を維持しております。